

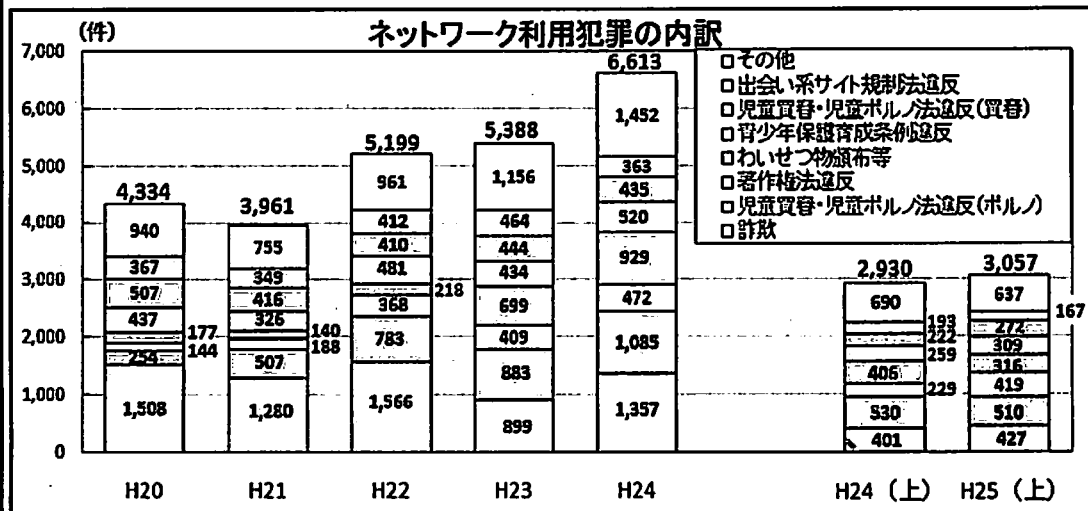
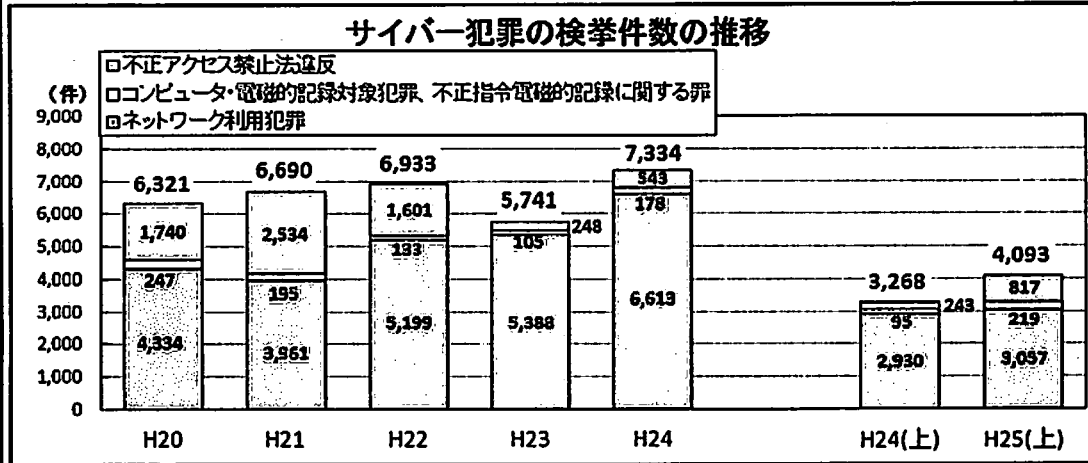
<p>公安委員会</p> <p>説明資料No. 1</p>	<p>トルコからの柔道講師の帰国について</p> <p>(第3回アフガニスタン警察官訓練支援)</p>	<p>平成25年9月26日</p> <p>国際課</p>
<p>1 柔道講師の帰国</p> <p>本年6月24日から、JICA短期派遣専門家としてトルコ共和国に派遣され、シヴァス警察訓練センター（トルコ警察の訓練施設）において、約500名のアフガニスタン警察官訓練生に対して柔道訓練を実施した6名の柔道講師（警視庁警察官）は、9月20日、任務を終え、帰国した。</p> <p>2 第3回柔道訓練の概要</p> <p>(1) 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 7月1日から9月14日までの11週間。 ○ オリエンテーション2時限及び実技訓練42時限。 ○ 受身・投技・固技（抑技・絞技・関節技）を指導。 <p>(2) 成果</p> <p>アフガニスタン警察官訓練生は、柔道技術の修得のみならず、速やかな整列・集合等の集団行動も行える等、規律も体得。トルコ警察も柔道講師の真摯な姿勢に感銘を受けつつ、深く感謝の意を示した。</p> <p>3 米田警察庁長官による督励訪問</p> <p>平成25年8月24日、米田長官がシヴァス警察訓練センターを訪問し、派遣中の柔道講師を督励。</p> <p>訓練センター長から日本の支援に対する感謝の意が示され、日本警察の国際貢献を確認。</p>		

1 サイバー犯罪の検挙状況

[1 頁]

平成25年上半期のサイバー犯罪の検挙件数は4,093件(前年同期比+825件、+25.2%)。

- (1) 不正アクセス禁止法違反は817件(+574件、+236.2%)。
- (2) コンピュータ・電磁的記録対象犯罪及び不正指令電磁的記録に関する罪は219件(+124件、+130.5%)。
- (3) ネットワーク利用犯罪は3,057件(+127件、+4.3%)。



2 サイバー犯罪等に関する相談状況

[3 頁]

平成25年上半期に都道府県警察の相談窓口で受理したサイバー犯罪等に関する相談件数は39,392件(前年同期比+242件、+0.6%)。

- (1) 詐欺・悪質商法に関する相談は15,615件(+955件、+6.5%)。
- (2) 名誉毀損・誹謗中傷等に関する相談は4,717件(-868件、-15.5%)。

3 今後の対策

- (1) 全国協働捜査方式及びサイバー犯罪特別対処班の活用を進め、サイバー犯罪の取締りの効率的・効果的な推進を図る。
- (2) 新種のウイルスを検知する資機材等の整備・活用、教養の充実により、悪質・巧妙化するサイバー犯罪の検挙を推進する。
- (3) 迅速かつ適切な相談対応を行うとともに、被害拡大防止対策を積極的に推進する。

公安委員会 説明資料No. 3	指名手配被疑者捜査強化月間の 実施について	平成25年9月26日 刑事企画課
---------------------------	--------------------------	---------------------

1 目的

広く国民の理解と協力を得ながら、逃亡、潜伏している凶悪重要事件等の指名手配被疑者に対する追跡捜査を強化し、早期検挙を図る。

2 実施期間

平成25年11月1日(金)～30日(土)の1箇月間
(10月1日(火)～31日(木)を準備期間として設定)

3 実施体制

警察庁に指名手配被疑者検挙対策室、管区警察局に推進連絡室を設置する。また、各都道府県警察(方面)に推進本部及び追跡捜査専従班を設置するなど追跡捜査体制を強化する。

4 捜査重点被疑者(警察庁指定13人ほか)

警察庁指定重要指名手配被疑者13人

都道府県警察指定重要指名手配被疑者412人(平成25年10月1日指定)

※ 全国の指名手配被疑者～835人(平成25年8月末日現在)

5 捜査特別報奨金制度に基づく懸賞広告の実施

(1) 捜査特別報奨金対象事件(警察庁指定重要指名手配被疑者)

No.	被疑者名	事件名	発・認知	広告回数
1	おぼら かつゆき 小原 勝幸 (33歳)	宮古市川井地内における女性殺人・ 死体遺棄事件 (岩手県警察)	H20. 7. 1 (認知)	6回目 (初回広告) H20. 10. 31
2	うえち けいえい 上地 恵栄 (57歳)	上連雀二丁目居酒屋チェーン副店長 強盗殺人事件 (警視庁)	H17. 11. 25 (認知)	7回目 (初回広告) H19. 11. 1
3	こぐれ ひろし 小暮 洋史 (44歳)	群馬町三ツ寺(現在高崎市)における 一家3人殺人事件 (群馬県警察)	H10. 1. 14 (発生)	7回目 (初回広告) H19. 11. 1
4	りん しょうい 林 紹葦 (40歳)	南区鳴浜町地内パチンコ店店員に対 する強盗殺人事件 (愛知県警察)	H11. 10. 1 (発生)	7回目 (初回広告) H19. 11. 1

※ 被疑者の年齢は、平成25年11月1日現在

(2) 報奨金の上限額及び応募の期間

ア 報奨金の上限額 300万円

イ 応募の期間 平成25年11月1日から1年間

ウ 広告日 平成25年9月26日(警察庁ウェブサイトに掲載)

公安委員会
説明資料No. 4

自動車安全運転センター業務方法書
の一部変更の認可について

平成25年9月26日
交通企画課

1 法人の概要

自動車安全運転センター（以下「センター」という。）は、自動車の運転に関する研修の実施、運転経歴に係る証明書及び交通事故に関する証明書の交付並びに交通事故に関する調査研究等を行っている法人であり、東京都所在の本部、茨城県所在の安全運転中央研修所のほか、全都道府県に51事務所を置き、合計約450人の職員を擁している。

2 業務方法書

センターは、自動車安全運転センター法（昭和50年法律第57号）第30条第1項において、業務の開始前に、業務方法書を作成し、国家公安委員会の認可を受けなければならないとされており、これを変更しようとするときも同様とされている。

3 今回の変更事項等

業務方法書には、センターが行う業務の内容のほか、事務所の名称や所在地も記載されている。

この度、東京都事務所の移転に伴い、業務方法書に記載された同事務所の所在地を改める旨の申請がセンターからなされたことから、平成25年9月19日付けで長官専決により認可した。

- 変更前の所在地 ふちゆうし 府中市
- 変更後の所在地 とうきょうとしながわく 東京都品川区

（平成25年9月24日、業務開始）

1 大会の目的等

本大会は、全国の白バイ乗務員の安全運転技能を向上させ受傷事故の絶無を期すとともに、士気の高揚及び交通機動隊員の融和団結を図ることを目的として、昭和44年に第1回大会を開催し、今大会で44回目の開催となる。

2 実施年月日

平成25年10月12日（土）、13日（日）の2日間

3 実施場所

茨城県ひたちなか市新光町605番地16
自動車安全運転センター 安全運転中央研修所

4 大会日程及び競技種目

- 10月12日（土）【大会1日目】
 - ・ 開会式及び分列行進
 - ・ バランス走行操縦競技
 - ・ トライアル走行操縦競技
- 10月13日（日）【大会2日目】
 - ・ 不整地走行操縦（モトクロス）競技
 - ・ 傾斜走行操縦（スラローム）競技
 - ・ 閉会式

5 参加選手等

- 男性警察官の部（150名）
 - ・ 第1部（白バイ乗務員数の多い9都府県警察）～36名
 - ・ 第2部（皇宮警察及び上記第1部以外の37道府県警察）～114名
- 女性警察官の部（35名）
22都道府県警察

6 表彰

- 男性警察官の部
 - ・ 団体 第1部 第1位～第3位
第2部 第1位～第6位
 - ・ 個人 個人総合 第1位～第10位
各種目別 第1位～第3位
- 女性警察官の部
個人 第1位～第3位